

Dynamics よくある質問

目次

1	操作・設定に関する Q&A	2
	Q1. よく使う診療行為のセット登録をしたい	2
	Q2. 自費(文書料等)を登録したい	4
	Q3. 服用方法(投与方法)を登録したい	6
	Q4. レセプトコメントを登録したい	8
	Q5. 画像診断の撮影部位を登録したい	11
	Q6. コロナの検査、治療薬の入力方法(令和5年5月8日以降より9月末までの暫定措置)	13
	Q7. 選択式コメントの入力について	18
	Q8. 返戻をオンライン請求で請求したい	25
	Q9. カルテと所見の並び順がおかしくなった	29
	Q10. 画面が見切れる、表示されない	30
	Q11. 複数の枝番を一本化したい(枝番を0~9まで使用してしまった)	31
	Q12. 検査を入力した際に採血料を自動算定したくない	32
	Q13. 新薬の薬剤を入力したい	33
	Q14. 所見にマーカーと下線を記載したい	34
	Q15. レセプトの統合方法について	35
	Q16. 4併(公費が3つ以上)のレセについて	36

1 操作・設定に関する Q&A

Q1. よく使う診療行為のセット登録をしたい

A1. 診療画面からセット登録ができます。

セット処方の場合(基本診療、注射、処置、検査、病名、備忘録も同様です。)

<セット登録手順>

【入力した処方内容をそのままセット登録する方法】

- ① セットに登録したい内容をカルテに入力している状態で、「セット処方」をクリックします。
- ② セット処方画面の「セット作成」をクリックします。

セットに登録したい内容を入力

- ③ 「新番号」をクリックすると、セット番号が自動採番されます。

プルダウンをクリックしてセットの空き番号を確認し、任意の数字を手入力して採番をすることもできます。

その際は後から挿入できるように、番号は 10 飛びで作成しておくとう便利です。

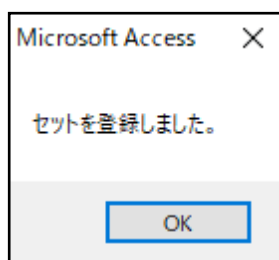
使用頻度の高いものは若い番号を割り当てると便利です。

④ 「**セットの追加**」をクリックすると、処方内容が転記表示されます。

⑤ 見分けるため任意の「**セット名**」と「**内容**」を入力します。

※「**内容**」は必須ではありません。

⑥ 「**閉じる**」で反映しますが、「**登録**」をクリックすると「**セットを登録しました。**」と表示され、続けてのセット作成が可能です。



Q2. 自費(文書料等)を登録したい

A2. 自費項目は、検査・画像「手入力・修正」の「自費項目(健診等):」から登録します。

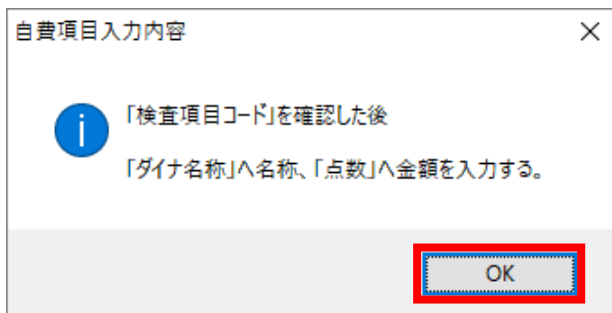
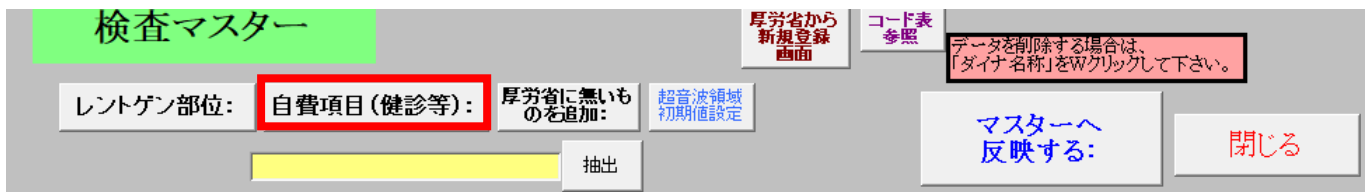
診療頁では、検査マスター「検診」ボタンに分類されます。

<登録手順>

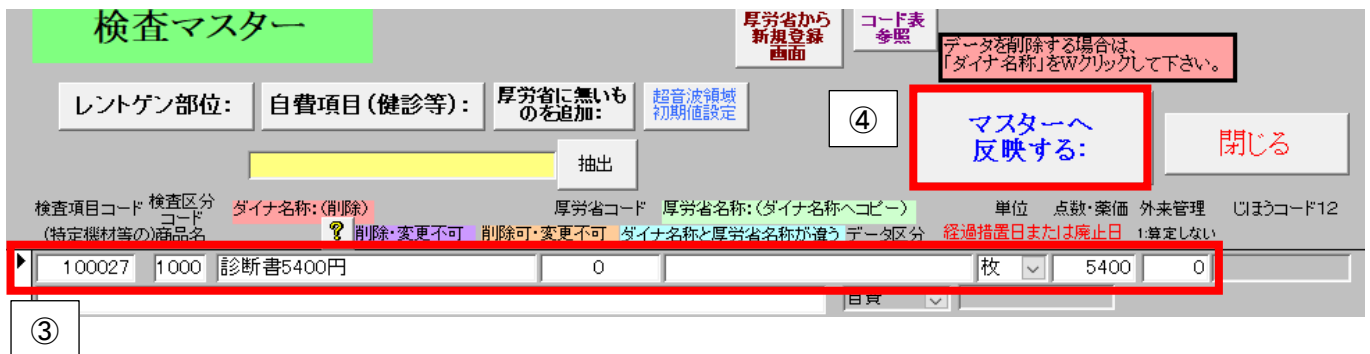
例: 自費項目「診断書」を登録する場合 ※自費項目コード: 100001~110000

① 「マスター修正(新)」→検査・画像「手入力・修正」をクリックします。

② 「自費項目(健診等):」をダブルクリックして、「OK」をクリックします。



③ 検査項目コードは自動で採番されるため確認し、「ダイナ名称」欄に「診断書〇〇〇円」と入力、「単位」をプルダウンから選択、「点数・薬価」欄に金額(税込)を入力します。



④ 「マスターへ反映する:」をダブルクリックします。

閉じる	所見へ	短縮入力	送る	判断料	検診	頻用
頻用	コード	検査項目名	マスター	区分	点数	
<input checked="" type="checkbox"/>	100025	自費100001-110000	回		0	
<input checked="" type="checkbox"/>	100026	インフルエンザ	回		1000	
<input checked="" type="checkbox"/>	100027	診断書5400円	枚		5400	
<input checked="" type="checkbox"/>	100036	<診断書¥3150>	回		3150	
<input checked="" type="checkbox"/>	100042	<容器代 ¥50>	回		50	

尿・糞便	血液学	生化(Ⅰ)	生化(Ⅱ)	免疫	微生物
病理	生体検査	耳鼻科	眼科	心理	負荷・皮内
内視鏡	検査薬剤	A B C	採取・穿刺	画像	画像薬剤

レコード: 1 / 34 ▼フィルター適用 検索

登録した自費項目は、カルテ診療頁「検査マスター」で、「検診」に分類されています。

Q3. 服用方法(投与法)を登録したい

A3. 服用方法(投与法)は、内服・頓服・外用でそれぞれコードが振り分けられています。

薬「手入力・修正」の「投与法:」ボタンを使用すると、メッセージに従って内服・頓服・外用のコードを自動で採番します。

<登録手順>

例:外用薬の投与法「1回1吸入 1日〇回」を登録する場合

- ① 「マスター修正(新)」→薬「手入力・修正」をクリックします。
- ② 「投与法:」をダブルクリックし、外用薬なら「キャンセル」を選択し「OK」。

薬マスター(薬)

自費薬: 投与法: 厚労省に無いものを追加: 厚労省から新規登録画面: コード表参照: データを削除する場合は、一度不使用にしてから「ダイナ名称」をWクリックして下さい。 不使用を非表示

インスリンの針: 投与法の補足・処方せん備考欄のコメント: 変更不可全チェック: 変更不可全解除: マスターへ反映する: 閉じる

自費薬 投与法 針 コメント 抽出 一般名印刷 向精神薬印刷 分類

一般名処方加算を算定可 先発品のない後発品 ? じほうコード12一括設定:

薬コード ダイナ名称:(不使用に変更・削除) 厚労省コード 厚労省名称:(ダイナ名称へコピー) 単位 倍数 点数・薬価 外用薬 向精神等 後発品 (特定機材等の)商品名 ? 削除・変更不可 削除可・変更不可 一般名 半角: 全角: ダイナ名称と厚労省名称が違う データ区分 経過措置日または廃止日 じほうコード12



投与法登録範囲選択

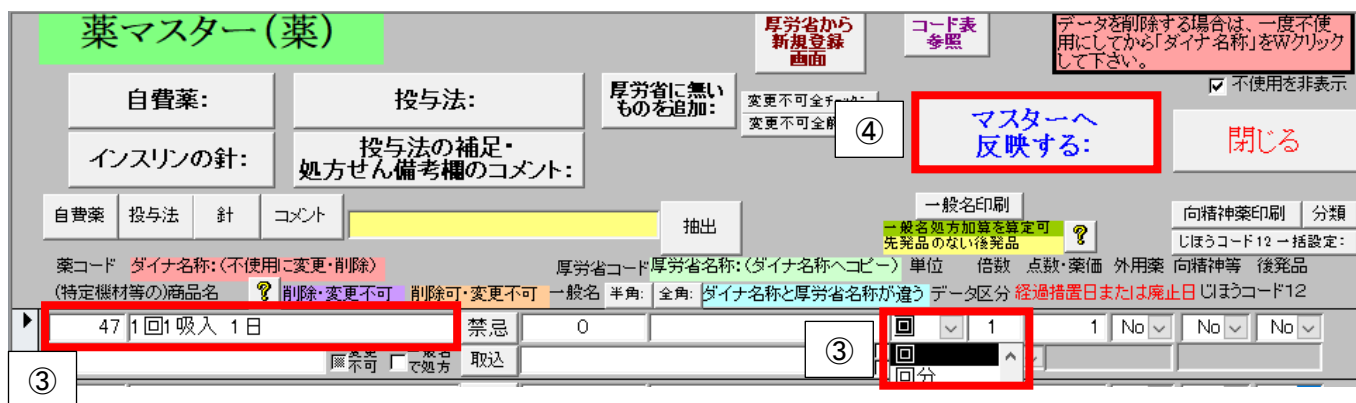
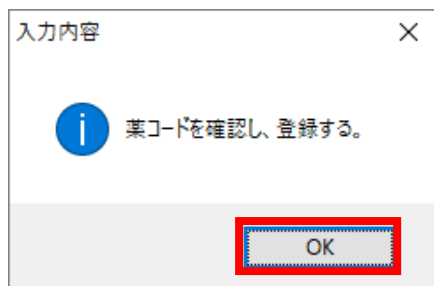
? 内服薬なら「はい」
頓服薬なら「いいえ」
外用薬なら「キャンセル」を選択

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

「はい」 → 内服薬 1～19・100～199
「いいえ」 → 頓服薬 20～34・200～299
「キャンセル」 → 外用薬 35～49・300～399

それぞれ薬のコード範囲が決まっており、自動で空き番号が採番されます。

- ③ 薬コードを確認し「ダイナ名称」欄に“1回1吸入 1日”と入力し、「単位」のプルダウンから“回”を選択します。



- ④ 「マスターへ反映する:」をダブルクリックします。

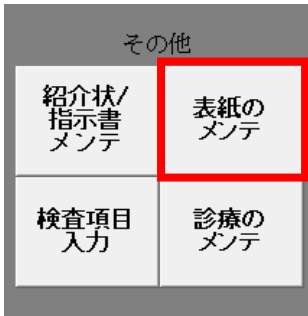
Q4. レセプトコメントを登録したい

A4. カルテ表紙頁の診療備忘録のレセプトコメントのプルダウンを設定できます。

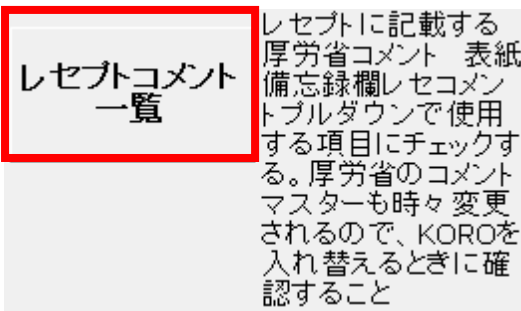
<登録手順>

◆厚労省提供の固定コメントの場合

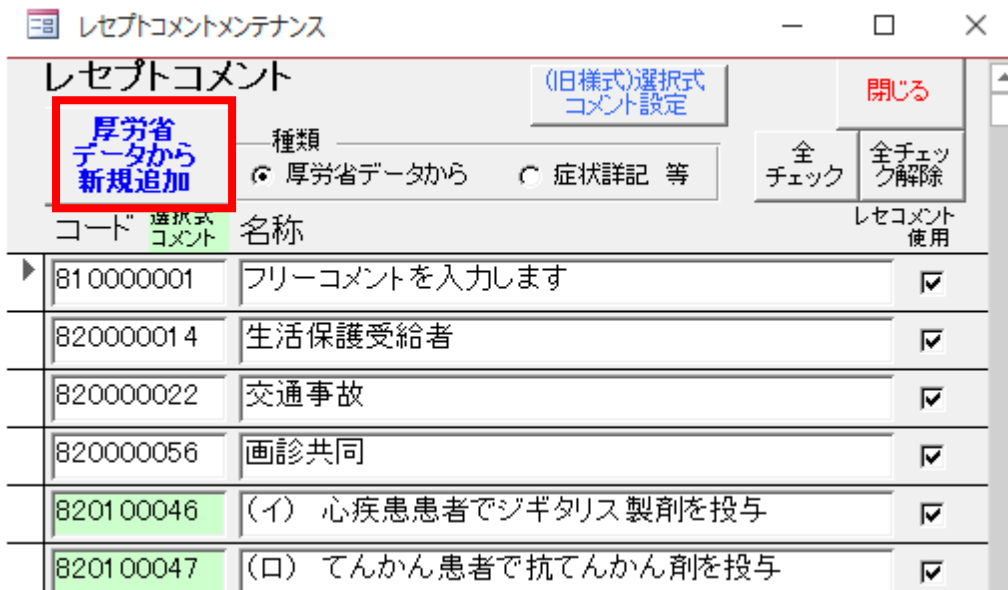
① 「メンテナンス」→その他「表紙のメンテ」をクリックします。



② 「レセプトコメント一覧」をクリックします。



③ 「厚労省データから新規追加」をクリックします。



④ 追加したい項目のコードをダブルクリックしてください。

レセプトコメント追加

追加するコードをダブルクリック 短縮入力 抽出

コード: 名称 (色付き項目はすでにダイナへ登録済み)

820000019	社会保険併用(本人)
820000020	社会保険併用(家族)
820000021	第三者行為
820000022	交通事故

追加するコードをダブルクリックします。
 ・白色:未登録
 ・オレンジ色:登録済

◆フリーコメントで固定コメントを登録する場合

① 「メンテナンス」→その他「表紙のメンテ」をクリックします。

その他

紹介状/指示書メンテ	表紙のメンテ
検査項目入力	診療のメンテ

② 「診療メモ」をクリックします。

診療メモ

表紙の診療メモでプルダウン選択する項目を作成追加する。

③ 「メモ番号」は任意で入力し、「診療メモ」へ内容を入力します。

診療メモ 番号の大きいものが上に表示されます

メモ番号	診療メモ
10510	レセプトコメント(レセプトコメントのプルダウンで「単月」か「毎月」を選
10520	フリーコメント/(60) (日付とレセプトコメントのプルダウンで「単月」か
10530	公費80/540円/2回
10540	公費80/10%/上限2000/端数
10550	1/162皮膚科特疾 (日付不要)
10560	1/166+
10570	慢性疼痛 (日付不要)
10580	運動器リハビリ (日付欄に開始日)
10590	ジゴキシン (「血中濃度測定薬剤名:」をレセプトコメントから選択、E
10600	H 年 月 (「特定薬剤治療管理初回算定 月 日」をレセプトコメン
10610	AFP (「腫瘍マーカー検査名」をレセプトコメントから選択、日付欄に
10620	保険証変更★ (日付欄に病名の開始日となる保険証変更日)

メモ番号は任意です。
 カルテ表紙頁の診療備忘録
 短期メモのプルダウンをクリックした
 際の表示は、番号の大きいものが
 上に表示されます。(下図)

◎「診療備忘録」からも登録できます。

ダブルクリックで③の診療メモ画面が開きます。

：で日付の **診療備忘録：(短期メモ)** ? 選択 セット 申し送り コメント

▼ なし ▼

保険証変更★ (日付欄に病名)
AFP (「腫瘍マーカー検査」)
H 年 月 (「特定薬剤治療費」)
運動器リハビリ (日付欄に開)
慢性疼痛 (日付不要)
1/166+
1/162皮膚科特疾 (日付不要)
公費80/10%/上限2000/端数
公費80/540円/2回
フリーコメント/(60) (日付不要)
レセプトコメント (レセプトコ)
各患者ごと領収書へのコメント

「診療メモ」は色々な用途に
使用できます。

Q5. 画像診断の撮影部位を登録したい

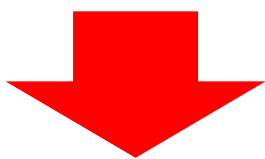
A5. 検査・画像「手入力・修正」の「レントゲン部位:」より登録ができます。

メッセージに従って「躯幹・四肢・造影撮影」のいずれかを選択すると、コードが自動で採番されます。

<登録手順>

例:レントゲン部位「左肋骨 X-P」を登録する場合 ※単純撮影コード:90100~90129

- ① 「マスター修正(新)」→検査・画像「手入力・修正」をクリックします。
- ② 「レントゲン部位:」をダブルクリックして、躯幹 X-P の場合は「はい」を選択します。



- ③ 検査項目コードは自動で採番されるため確認し、「ダイナ名称」欄に“右肋骨 X-P”と入力します。



検査マスター

厚労省から新規登録画面 コード表参照

データを削除する場合は、「ダイナ名称」をクリックして下さい。

レントゲン部位: 自費項目(健診等): 厚労省に無いものを追加: 超音波領域初期値設定

④ **マスターへ反映する:** 閉じる

抽出

検査項目コード 検査区分コード ダイナ名称:(削除) 厚労省コード 厚労省名称:(ダイナ名称へコピー) 単位 点数・薬価 外来管理 じまうコード12
(特定機材等の)商品名 ? 削除・変更不可 削除可・変更不可 ダイナ名称と厚労省名称が違う データ区分 経過措置日または廃止日 1:算定しない

90110	101	右肋骨X-P	0		回	0	0	
-------	-----	--------	---	--	---	---	---	--

③ 使用

④ 「マスターへ反映する:」をダブルクリックします。

※マスター登録時、山括弧<>内に部位を入力し登録すると、画像の部位入力フォームは開かず、レセプト作成時に部位の選択式コメントを出力します。(Ver28 より)

90102	101	<胸部>X-P
-------	-----	---------

詳細は、ダイナミクス説明書「A-7-5 画像撮影部位の入力」をご参照ください。

Q6. コロナの検査、治療薬の入力方法(令和5年5月8日以降より9月末までの暫定措置)

A6. 検査や軽症者の療養に関わる公費負担がなくなり自己負担となりますが、

9月末までは特定の治療薬のみ全額公費補助の対象になります。

※全額補助治療薬の対象と範囲

全額補助の対象となる治療薬は、下記に限定されます。

経口薬:ラゲブリオ、パキロビッド、ゾコーバ

注射薬:ベクルリー、ゼビュディ、ロナプリーブ、エバシールド

また、上記を処方する際の手技料等は補助の対象には含まれず、薬剤料のみが対象となります。

<入力手順>

コロナの検査、治療薬以外の治療は通常の保険の枝番カルテに入力します。

◆コロナ治療薬の入力

A. 経口薬「ラゲブリオ」「パキロビッド」「ゾコーバ」を院外処方する場合

※院外処方の場合、治療薬の公費請求の請求点数が0点となることから

現状、レセプトには治療薬の公費番号を記載してもしなくてもどちらでも問題ありません。

ただし記載をする場合は点数、金額欄には「0」を記載してくださいと鹿児島県支払基金へ確認をとりました。(最新の情報は各審査機関へご確認をお願い致します。)

また、2023/5/17の疑義解釈(その3)により、処方箋に公費番号を記載しなくても問題ないとの見解が示されましたのでどちらの方法を採用されるかは各医院様でご判断ください。

【処方箋に公費負担者番号を記載しない方法】

枝番カルテは作成せず、保険のカルテにコロナ治療薬を含む全ての処方薬を入力します。

カルテ表紙に公費負担者番号を入力する必要はありません。

【処方箋に公費負担者番号を記載する方法】

下記 2 つの枝番カルテへの入力を行います。

・カルテ①: 保険

コロナ治療薬を除いた全てをこちらに入力します。

※コロナの確定病名もこちらに入力しておく必要があります。

「外来加算・」で自動入力された、処置・手術欄の処方箋料は会計・レセプトに必要なため残します。処方欄の処方箋料は処方箋発行のために必要なので、こちらのカルテでコロナ治療薬以外の薬の処方箋を発行する場合は残しますが、下記カルテ②でコロナ治療薬の処方箋を発行するだけであれば削除します。

・カルテ②: 保険+28(コロナ治療薬補助)

コロナ治療薬のみを入力します。

「外来加算・」で自動入力された、基本診療欄、処置・手術欄の処方箋料等は全て削除します。処方欄の処方箋料は処方箋発行のために必要なので残します。この状態で合計点ボタンをクリックしても点数は 0 点となりますので、レセプトは作成されません。

※レセプトが作成されませんので統合等の作業は一切必要ありません。

◎レセプトにコロナ治療薬の公費番号を記載する場合◎

レセプト作成前に保険のカルテの表紙に、一時的に 28(コロナ治療薬補助)の公費番号を追加します。

※統合の作業は必要ありません。

レセプト作成後は追加した 28(コロナ治療薬補助)の公費番号を削除します。

B. 経口薬「ラゲブリオ」「パキロビッド」「ゾコーバ」を院内処方する場合

下記 2 つの枝番カルテへの入力を行います。

・カルテ①: 保険

コロナ治療薬を除いた全てをこちらに入力します。

処方料、調剤料などの手技料はこちらで算定しますので、コロナ治療薬以外の薬が無い場合は、処方欄への手入力を行います。

・カルテ②: 保険+28(コロナ治療薬補助)

コロナ治療薬のみを入力します。

「外来加算・」で自動入力された、処方料、調剤料などの手技料や基本診療欄の項目は全て削除します。

上記のレセプト作成後に「カルテ①: 保険」と「カルテ②: 保険+28(コロナ治療薬補助)」の統合が必要ですが、統合方法(パターン)についてはこれまでと変更はありませんので、統合方法の詳細については「新型コロナウイルス保険請求対応マニュアル」をご参照ください。

C. 注射薬「ベクルリー」「ゼビュディ」「ロナプリーブ」「エバシールド」を使用する場合

下記 2 つの枝番カルテへの入力を行います。

・カルテ①: 保険

コロナ治療薬を除いた全てをこちらに入力します。

注射手技料はこちらで算定しますので、コロナ治療薬以外の薬剤が無い場合は、「ダイナミクス説明書」の「B-10-8 注射手技料のみを算定したい場合」(※下記に抜粋)をご参照ください。

・カルテ②:保険+28(コロナ治療薬補助)

コロナ治療薬のみを入力します。

注射手技料は算定しませんので、「ダイナミクス説明書」の「B-10-7 注射薬のみの入力」(※下記に抜粋)をご参照ください。

上記レセプト作成後に「カルテ①:保険」と「カルテ②:保険+28(コロナ治療薬補助)」の統合が必要ですが、統合方法(パターン)についてはこれまでと変更はありませんので、統合方法の詳細については「新型コロナウイルス保険請求対応マニュアル」をご参照ください。

<「ダイナミクス説明書」からの抜粋>

B-10-7 注射薬のみの入力

手技料を算定せずに使用した薬剤料のみ算定する場合、手技料として「同日注射」(コード 100007)または「同日点滴」(コード 100008)を入力します。

	注	射	適応	チェック
▶	ソセゴン注射液	15mg	1	A
▼	同日注射		1	回

※レセプト区分は、「同日注射」の場合 32 コード、「同日点滴」は 33 コードで記載されます。

B-10-8 注射手技料のみを算定したい場合

手技料のみを算定したい場合は、注射薬の代わりに「手技料のみ」(コード 110000~199999 範囲)でマスター登録し、注射欄に入力します。

- 登録する名称 : 手技料のみ
- 薬コード : 110000~199999
- 単位 : 回
- 点数・薬価 : 0 (点)
- 厚労省コード : 0

厚労省データから注射へ登録 手入力・修正画面

登録する名称

薬コード

倍数 単位

保険対象or自費 点数・薬価

外用 厚労省コード

▶	手技料のみ		1	回
▼	静脈内注射		1	回

薬剤のかわりに「手技料のみ」を入力します。

※レセプトには摘要欄に「手技料のみ」と記載されてしまう為「レセプト」→「⑤レセプトフォーム表示」で削除してください。また「点滴注射」の場合はレセプト点数欄の回数の修正も必要です。別項「D-5-4 「⑤レセプトフォーム表示」でチェックと修正(レセ電、紙レセ共通)」参照。

D. 小児包括等でコロナ検査を出来高算定する場合

下記包括を算定している患者に対し、SARS-CoV-2 核酸検出等及び SARS-CoV-2 抗原検出等を実施した場合は、検査料と判断料が別途算定できますが、カルテは「包括カルテ」と「包括以外(出来高)カルテ」で分けて入力し、レセプトは統合が必要になります。

※レセプト統合時の「主」「従」☑の選択は、どちらが「主」でも問題ありません。

(統合結果は同じになります。)

包括の種類:小児科外来診療料、地域包括診療料、認知症地域包括診療料、
小児かかりつけ診療料、生活習慣病管理料、在宅がん医療総合診療料

※小児科外来診療料の「包括外(出来高)カルテ」は表紙頁の2箇所を設定し作成します。

①

：で日付 診療備忘録：(短期メモ) ? 選択 セット 申し送り コメント
小児科包括なし

手入力します。
※日付、レセプトコメント選択は不要

②

包括 0 包括しない

「0 包括しない」を選択します。
※「表紙修正:」ダブルクリック後

登録
確認

「登録確認」ボタンで登録を完了します。

Q7. 選択式コメントの入力について

A7. 診療備忘録「選択」ボタンから入力します。

コメントの内容により入力方法が異なりますのでご確認ください。

<診療備忘録の短期メモ欄、レセプト表示画面での表示形式>

「**コメント入力内容**@コメント定型文/(XX)」

※選択式コメント以外のレセプトコメント(フリーコメント等)は従来通りの表示です。

<備忘録メモ欄の表示例>

：で日付	診療備忘録：(短期メモ) ?	選択	セット	申し送り レセプト コメント
20/10/01	2020/10/01@初回算定年月日 (ニコチン依存症管理料) / (13)			<input type="checkbox"/> 毎選

<レセプト「⑤レセプトフォーム表示」の表示例>

* 令和02年10月01日@初回算定年月日 (ニコチン依存症管理料)

<レセ電「⑬レセ電表示」・「CSV参照」の表示例>

03 850100064 令和02年10月01日@初回算定年月日 (ニコチン依存症管理料)
CO, 13, 1, 850100064, 5021001

<備忘録欄を拡大表示する方法>

「メンテナンス」→「デザイン変更」→「個別設定」にて、備忘録メモ欄を2行表示にすることが可能です。

備忘録 MSゴシック	-3	+120
------------	----	------

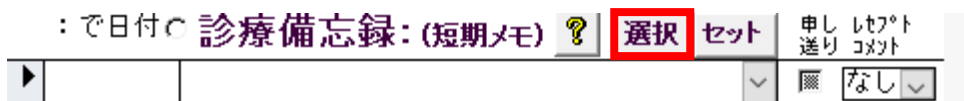
「画面レイアウト」→「備忘録拡大」から、備忘録欄の表示枠を増やすことも可能です。

画面レイアウト	
表紙 備忘録拡大	診療 標準

※詳細は、ダイナミクス説明書「I-14 デザイン変更」をご参照ください。

◆「選択」ボタンからの入力手順

- ① 診療備忘録「選択」ボタンをクリックします。



- ② 選択式コメント入力フォームが表示されます。

別表 I に記載されている情報を表示します。説明文は枠内をダブルクリックするとポップアップで全文を拡大表示します。説明文の「★」は、Dynamics 特有の特殊な入力方法などを記載しています。

カルテ番号と患者名、受診コードとカルテの日付を表示しています。「前」「後」ボタンで、現在開いているカルテの日付以外に移動することができます。(備忘録日付と連動します。)

対象の診療行為は、選択式コメントの入力対象となる診療行為を表示します。

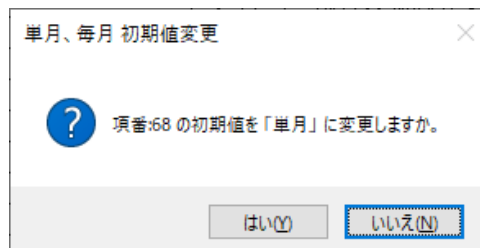
頻用: 項番	種類:	検索	コメント:	当月に入力済	入力	診療区分	コメントコード
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (イ) 心疾患患者でジギタリス製剤を投与			E001の2	820100046
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (ロ) てんかん患者で抗てんかん剤を投与			E001の2	820100047
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (ハ) 臓器移植術を受けた患者で免疫抑制剤を投与			E001の2	820100558
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (ニ) 気管支喘息等の患者でテオフィリン製剤を投与			E001の2	820100559
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (ホ) 不整脈の患者に対して不整脈用剤を継続的に投与			E001の2	820100560
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (ヘ) 統合失調症の患者でハロペリドール製剤等を投与			E001の2	820100561
<input checked="" type="checkbox"/>	88	特定薬剤治療管理料1	* (ト) 躁うつ病の患者でリチウム製剤を投与			E001の2	820100562

備忘録日付は、備忘録左側の日付欄に入力される日付です。備忘録に送る前に変更可能で、「当日」カルテの日付、「今日」本日日付、手入力で修正も可能です。

対象コメントを選択し「送る・」もしくは、対象コメントをダブルクリックで入力します。

※赤枠部分は次頁をご参照ください。

プルダウンで「単月」or「毎月」を選択します。単月 or 毎月は、この画面上で変更することで、次回からの初期値を変更することができます。今回だけの変更の場合は(右図)「いいえ」を選択してください。



頻用: 頻用フラグにチェックが付いたコメントを表示します。頻用欄のダブルクリックでチェックが入ります。
一覧: 全てのコメントを表示します。

ボックスのプルダウンより種類を選択すると、その種類のみ
に絞り込みます。
「頻用」を選んでいる
際は、頻用のみを
リストアップします。

▼	×	検索
68	B001の2	特定薬剤治療管理料1
73	B001の3	悪性腫瘍特異物質治療管理料
74	B001の4	小児特定疾患カウンセリング料

※緑枠部分は次頁をご参照ください。

頻用	一覧	検索	検索	全て	必須+頻用	当日	当月	今月	先月	全患者直近 1年で絞込:	診療区分	コメントコード
<input checked="" type="checkbox"/>												

検索欄にて検索したい文字を入力し Enter キーで対象コメントが
検索可能です。検索する文字列で「種類」「コメント」欄の一覧か
ら絞り込みます。
9桁の数値を入力した場合は、コメントコードで絞り込みます。

入力: 入力方法を表示します。
・空…手入力無(選択のみ)
・文字…文字
・数値…数値
・日付…日付
・時刻…時刻(24H表記)
・分…分
をそれぞれ入力します。
※入力方法の詳細は後述

「項番」: 別表 I の項番を表示します。今後改定ごとに
番号が変更される可能性があります。

「種類」: 別表 I の診療行為名称等を表示します。
ダブルクリックで選択式コメントを備忘録に入力します。

「枝番」: 各枝番に対して、入力条件が複数ある場合に 1~順番に枝番を割り振っています。
各枝番に対応した入力条件は左上枠の説明文【1】~を確認してください。同じ枝番内に
「必須(*)」がある場合は、最低 1 つは入力がないとレセ電送信時に ASP エラーとなりま
す。

「必須」:
・*: 必須…必ず必要で、入れないと返戻対象になるコメント。
・特: 特殊入力…特殊な入力方法のコメント。※詳細は、ダイナミクス説明書
「A-7-5 画像撮影部位の入力」「A-7-6 リハビリテーションの入力」等
をご参照ください。
・自: 自動入力…診療項目算定時、レセプトに自動で記載されるコメント。
・空: それ以外。

「コメント」: コメントを表示します。ダブルクリックで選択式コメントを備忘録に入力します。

「当月に入力済」: 開いている受診月で、既に備忘録に入力済みのコメント。
(毎選の場合は受診月に関係なく) 背景がオレンジ色になります。

191	在宅持続陽圧呼吸療法指	5	*	算定日の自覚症状(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料);
-----	-------------	---	---	----------------------------

受診日を「前」「後」することで、
チェックする月が変更されます。

「診療区分」: 別表 I の区分を表示します。

算定要件を点数早見表などで確認する際の参考にしてください。

「コメントコード」: レセプト電算処理システム用コードです。

0-0	ダイナ 康夫	前
1754	20/10/01(木)	後

カルテ受診日

診療入力で絞込

診療入力で絞込

全て × 必須+頻用

当日 当月 今月 先月

全患者 直近1年で絞込:

開いている受診日の期間に入力された診療行為を元に、対象のコメントを絞り込みます。

「当日」: 開いている受診日で絞り込み

「当月」: 開いている受診日が属する月で絞り込み

「今月」: PC 日付の属する月で絞り込み

「先月」: PC 日付の属する月の前月で絞り込み

「全て」: 対象になりうるコメントを全て表示

「必須+頻用」: 入力が「必須(*)」なコメントと「頻用」にチェックしたコメントを表示

「全患者 直近1年で絞込」: ダブルクリックで、PC 日付から過去1年間に入力した診療行為を

元に対象となりうるコメントを探して、頻用欄に

チェックを入れる場合などにご利用ください。

「特:特殊入力」「自:自動入力」は、通常は

頻用欄にチェックを入れる必要はありません。

Microsoft Access

全患者の直近1年分の診療入力から、選択式コメントを絞り込みますか?

※ 頻用フラグの初期整備などにご利用ください。

0-0	ダイナ 康夫	前
1754	20/10/01(木)	後

カルテ受診日

③ 対象コメントを選択後「送る・」ボタンをクリックするか、対象コメントをダブルクリックすると

診療備忘録に入力できます。コメントの内容とレセプト挿入位置「/(XX)」が短期メモ欄に表示

されます。

選択式コメント入力

旧様式に切替

68 B001の2

0-0 ダイナ 康夫 前

1754 20/11/06(金) 後

対象の診療行為 最新で絞り込込:

特定薬剤治療管理料1

特定薬剤治療管理料1(ジギタリス製剤の急速飽和)

特定薬剤治療管理料1(第4月目以降)

備忘録日付 20/11/06

毎日 今日

プルダウンで「単月」or「毎月」選択可能です。

毎月 単月 毎月

送る・

対象コメントを選択し「送る・」か、対象コメントをダブルクリックで入力。

頻用	項集	補償	特集	必須	コメント	挿入位置	診療区分	レセコード
<input checked="" type="checkbox"/>	68	特定薬剤治療管理料1	*	(イ)	心疾患患者でジギタリス製剤を投与	B001の2	820100046	
<input checked="" type="checkbox"/>	68	特定薬剤治療管理料1	*	(ロ)	てんかん患者で抗てんかん剤を投与	B001の2	820100047	
<input checked="" type="checkbox"/>	68	特定薬剤治療管理料1	*	(ハ)	臓器手術を受けた患者で免疫抑制剤を投与	B001の2	820100558	

備忘録へ入力すると、オレンジ色(当月に入力済)になります。

(イ) 心疾患患者でジギタリス製剤を投与

診療備忘録: (短期メモ) 選択 セット

20/11/06 (イ) 心疾患患者でジギタリス製剤を投与/(13)

毎選
 単選

「毎選」: 毎月の選択式コメント
「単選」: 単月の選択式コメント

<選択式コメントに追加の入力が必要なコメントの入力例と入力規則の詳細>

追加の文章を入力する

選択式コメントの内容に応じて文章の入力が必要です。

頻用	項番	種類	枝番	必須	コメント	(左端の「頻用」はダブルクリックで変更可)	当月に入力済	入力	診療区分
<input type="checkbox"/>	133	療養費同意書交付料	2	*	同意書又は診断書に記載した病名(療養費同意書交付料);			文字	B013

入力補助機能

- ・日付順: 備忘録日付が新しい順に表示
- ・回数順: 入力回数が多い順に表示
- ・診療メモ: 登録済の診療メモを表示
- ※日付順と回数順は最大 100 件

注意点

- ・文字数は最大 200 文字まで入力可能です。
- ・23 文字を超える場合、レセプト作成時に自動で複数行に改行されます。
- ・複数行になる場合、2 行目以降はフリーコメント(810000001)で出力します。

(レセプト)

80		* 830000052	貼付する部位が多い	また	長期の海外
90		810000001	しているため		

ダブルクリック

選択式コメント入力

備忘録日付 20/10/01

@同意書又は診断書に記載した病名(療養費同意書交付料); 単月 / (13)

文字 心不全

入力補助 日付順 | 回数順 | 診療メモ

送る・ キャンセル

：で日付の 診療備忘録: (短期メモ) ? 選択 セット 申し送り コメント

▶ 20/10/01 心不全 @同意書又は診断書に記載した病名(療養費同意書交付料); / (13) 毎選

数値を入力する

コメント内容に応じて検査値や人数、回数等の数値を入力します。単位は不要です。

頻用	項番	種類	枝番	必須	コメント	(左端の「頻用」はダブルクリックで変更可)	当月に入力済	入力	診療区分
<input type="checkbox"/>	151	在医総管、施医総管	3	*	単一建物診療患者数(在医総管)			数値	C002、C00

数値、+(プラス)、-(マイナス)、.(ピリオド)以外の文字を入力しても、「送る・」クリック時に除去されます

注意点

- 使用できる文字は「数値」、「+(プラス)」、「-(マイナス)」、「.(ピリオド)」です。
- それ以外の文字は備忘録メモ欄に手入力しても無視されます。

ダブルクリック

選択式コメント入力

備忘録日付 20/10/01

@単一建物診療患者数(在医総管)/(14) 毎月

数値 5

送る・ キャンセル

：で日付の 診療備忘録: (短期メモ) ? 選択 セット 申し送り コメント

▶ 20/10/01 5 @単一建物診療患者数(在医総管) / (14) 毎選

入力
日付

日付を入力する

コメント内容に応じて日付を入力します。

頻用: 項番	種類:	枝番 必須	コメント: (左端の「頻用」はダブルクリックで変更可)	当月に入力済	入力	診療区分
<input type="checkbox"/> 172	介護職員等喀痰吸引等指	*	指示書の 前回交付年月日(介護職員等喀痰吸引等指示料)		日付	C007-2

受診日を自動的に入力します。

- ・前: 1 つ前の受診日
- ・後: 1 つ後の受診日
- ・最初: 最初の受診日
- ・最後: 直近の受診日
- ・枝番内: 上記判定を
当該枝番内で行う場合は ON
全枝番を通して行う場合は OFF

ダブルクリック

選択式コメント入力

選択式コメント入力 備忘録日付 20/10/01

@指示書の 前回交付年月日(介護職員等喀痰吸引等指示料) 単月 / (14)

日付 2020/10/01

受診日 前 後 最初 最後 枝番内

送る キャンセル

注意点

- ・日情報が不要なコメントは
入力時 「日」は不要 と表示
します。

診療備忘録: (短期メモ) ? 選択 セット 申し送り コメント

20/10/01 2020/10/01 @指示書の 前回交付年月日 (介護職員等喀痰吸引等指示料)

単選

- ・備忘録メモ欄に手入力する場合は、下記ルールに従って入力してください。

例) 日付の入力例: 2020 年 10 月 1 日と入力する場合

2020/10/01

20/10/01

令和 2 年 10 月 1 日

- ・形式は西暦、和暦のいずれでも構いませんが和暦の場合は必ず年号を入力してください。
- ・年月日区切りはスラッシュ以外(「.」、「スペース」、「年・月・日」等)でも構いません。
- ・年号の入力は「令和」、「令」、「R」のいずれでも構いません。
- ・上記以外の形式で入力すると意図しない日付になることがあります。
- ・数値の入力は全角、半角のどちらでも構いませんが漢数字は不可です。

入力
時刻

時刻を入力する

コメント内容に応じた時刻を入力します。

頻用: 項番	種類:	枝番	必須	コメント:	(左端の「頻用」はダブルクリックで変更可)	当月に入力済	入力	診療区分
<input type="checkbox"/> 370	持続緩徐式血液濾過	2	*	開始時刻(持続緩徐式血液濾過)			時刻	J038-2

ダブルクリック

注意点

- ・必ず 24 時間表記で入力してください。
- ・備忘録メモ欄に手入力する場合は
15:30、15 時 30 分のいずれの形式でも
構いません。

選択式コメント入力

選択式コメント入力 備忘録日付 20/10/01

@開始時刻(持続緩徐式血液濾過)/(40)

時刻 15:30

送る キャンセル

で日付	診療備忘録: (短期メモ)	?	選択	セット	申し送り	コメント
20/10/01	15:30 @開始時刻(持続緩徐式血液濾過)/(40)				<input type="checkbox"/>	単選

入力
分

時間(分)を入力する

コメント内容に応じた時間の長さを分単位で入力します。

頻用: 項番	種類:	枝番	必須	コメント:	(左端の「頻用」はダブルクリックで変更可)	当月に入力済	入力	診療区分
<input type="checkbox"/> 331	通院・在宅精神療法	3	*	診療に要した時間(通院・在宅精神療法)			分	I002

ダブルクリック

注意点

- ・分単位で入力してください。
- ・備忘録メモ欄に手入力する場合は
○時間○分と入力することで、
レセプト作成時に自動で分単位に変換します。

選択式コメント入力

選択式コメント入力 備忘録日付 20/10/01

@診療に要した時間(通院・在宅精神療法)/(80)

分 100分

送る キャンセル

で日付	診療備忘録: (短期メモ)	?	選択	セット	申し送り	コメント
20/10/01	100 @診療に要した時間(通院・在宅精神療法)/(80)				<input type="checkbox"/>	単選

Q8. 返戻をオンライン請求で請求したい

A8. 返戻ファイルをオンライン請求の画面からダウンロードをしておくことで請求可能です。

◆準備

<返戻ファイルをダウンロードする>

返戻ファイル「RECEIPTC.HEN」、「RECEIPTC.SAH」を、支払基金・国保連合会のオンライン請求画面よりダウンロードします。

<A、Bどちらの手順で行うか確認する> ※A、B並行はできません。

A. 当月レセプトに再請求分を含める場合

事前に当月レセプトを①～⑤、⑧(月遅れ分)、レセプト統合を行い、⑩(CSV作成)まで作成し、エラーがないかチェックしておきます。

B. 再請求分だけを作成する場合

事前に①、「返戻データ削除:」を行っておきます。

◆返戻データ取り込み

2通りの方法がありますので、いずれかで行ってください。

<方法 1> ※返戻のファイル名を変更している場合は、<方法 2>で行ってください。

「返戻FDコピー」ボタンから「RECEIPTC.HEN」、「RECEIPTC.SAH」を取り込みます。

※ファイル名は「RECEIPTC.HEN」、「RECEIPTC.SAH」と完全一致でなければコピーできません。

<方法 2>

作業する DYNA_cnt.mdb と同じフォルダ内の「国保連」、「支払基金」フォルダに

「RECEIPTC.HEN」、「RECEIPTC.SAH」を置いてから取り込みます。

※ファイル名変更可(拡張子は変更不可)

◆返戻修正作業

※今回の手順では「返戻修正作業」ボタン→「返戻レセプト修正画面」は、

原則、返戻内容の確認(管理)だけに使用し、返戻修正は行いません。

必ず、[印刷]ボタンから一覧を印刷しておいてください。

[返戻理由:]で返戻内容の閲覧は問題ありませんが[修正]は行わず[閉じる]で閉じてください。

また、再請求を保留にする以外、左の☑は外さないでください。

外す	確認	カルテ番号	氏名	印刷	返戻表示	修正後表示	集計印刷	返戻再修正	全件表示	項目の色付け	閉じる
全て選択	診療年月	提出年月(送る)	提出先	生年月日	返戻理由(修正後レセプト表示)	同一返戻あり	補足事項	同時返戻あり	返戻区分	診療識別	返戻メモ
<input checked="" type="checkbox"/>	2022年	10月	103	ダイナ 康子	宿泊療養および在宅療養の公費番号「28136802」の請求書の傷病名についてご確認ください。				1	事務上	
HEN	12月	2023年 1月	国保	平成 13 06 08							

<A: 保険情報、算定項目の増減(点数変更)、病名等を変更して再請求するケース>

カルテを修正後、再請求するレセプトの診療年月に合わせ、カルテ番号欄にカルテ番号を入力し「⑧月遅れレセプト作成:」をし、「⑤レセプトフォーム表示」で内容を確認します。

修正は以上です。

返戻修正作業が終了したら、「⑩CSV 作成:」を行います。

※「CSV に追加:」は行わないでください。⑧で作成したレセプトが削除されてしまいます。

<B: 返戻された枝番とは違う枝番で再請求するケース>

例) 返戻は枝番 3 だが、枝番 1 で再請求したい

返戻修正作業

外す	確認	カルテ番号	氏名	(返戻の修正手順)	印刷	返戻表示	修正後表示	集計印刷
全て選択	診療年月	提出年月(送る)	提出先	生年月日	返戻理由(修正後レセプト表示)	同一返戻あり	補足事項	同時返戻あり
<input checked="" type="checkbox"/>	2022年	103	ダイナ 康子	2023年 1月	診療療養および自宅療養の公費番号(20133802)の請求より、傷病名についてご確認下さい。			

枝番を 3→1 へ手修正します

カルテを修正後、再請求するレセプトの診療年月に合わせ、カルテ番号欄に再請求するカルテ番号を入力し「⑧月遅れレセプト作成:」をし、「⑤レセプトフォーム表示」で内容を確認します。

修正は以上です。

返戻修正作業が終了したら、「⑩CSV 作成:」を行います。

※「CSV に追加:」は行わないでください。⑧で作成したレセプトが削除されてしまいます。

<C: 国保→社保、社保→国保へ違う提出先へ再請求するケース>

返戻の再請求ではなく、「月遅れ」として請求します。

返戻修正作業

外す	確認	カルテ番号	氏名	(返戻の修正手順)	印刷	返戻表示	修正後表示	集計印刷
全て選択	診療年月	提出年月(送る)	提出先	生年月日	返戻理由(修正後レセプト表示)	同一		
<input checked="" type="checkbox"/>	2022年	103	ダイナ 康子	2023年 1月	社会保険適用(社会保険適用)。			

該当行のレコードセクターを選択し、行削除します

※返戻修正作業の画面では返戻として再請求しないので該当レコードを削除します。

保険の修正、受診内容を確認し、再請求するレセプトの診療年月に合わせ、カルテ番号欄に再請求するカルテ番号を入力し「⑧月遅れレセプト作成:」をし、「⑤レセプトフォーム表示」で内容を確認します。

修正は以上です。

返戻修正作業が終了したら、「⑩CSV 作成:」を行います。

※「CSV に追加:」は行わないでください。⑧で作成したレセプトが削除されてしまいます。

<D: 統合せず重複請求となった返戻を、統合して再請求するケース>

例) 統合時「主」: 国保+28(枝番 3)、「従」: 国保のみ(枝番 2)

返戻
修正作業

➔

統合時「従」となる枝番の該当行のレコードセクターを選択し、行削除します

外す 全て 選択	確認	カルテ番号 <small>(:カルテ表示)</small>	氏名 <small>(:返戻レセプト表示)</small>	印刷	返戻 表示	修正後 表示	集計 印刷
<input checked="" type="checkbox"/>		2022年 102 HEN 12月 2023年 1月	ダイナ 康子 国保 平成 13 06 08				
<input checked="" type="checkbox"/>		2022年 103 HEN 12月 2023年 1月	ダイナ 康子 国保 平成 13 06 08				

カルテを修正(確認)後、再請求するレセプトの診療年月に合わせ、カルテ番号欄に統合対象のカルテ番号を入力し「⑧月遅れレセプト作成:」をし、統合対象のレセプトを作成します。「⑤レセプトフォーム表示」で内容の確認、統合をします。

修正は以上です。

返戻修正作業が終了したら、「⑩CSV 作成:」を行います。

※「CSV に追加:」は行わないでください。⑧で作成したレセプトが削除されてしまいます。

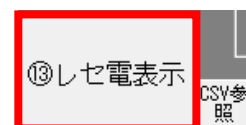
◆確認方法

2通りの方法がありますので、いずれかで行ってください。

<再請求分だけを確認する場合>

レセ電モードに☑をした状態で再請求するレセプトの診療年月に合わせ、カルテ番号欄に再請求するカルテ番号を入力し「⑬レセ電表示」をします。

再請求分レセプトが表示されます。



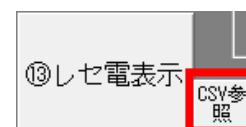
「⑬レセ電表示」画面の左上が「レセ電表示(再請求)」となっており、画面中央上部に返戻理由が記載されていることが確認できれば、正しくレセプト作成されています。

<返戻データも一緒に確認する場合>

レセ電モードに☑をした状態で再請求するレセプトの診療年月に

合わせ、カルテ番号欄に再請求するカルテ番号を入力し「CSV 参照」をします。

再請求データ(黒文字)と返戻履歴管理ブロック(グレー文字)が表示されます。



Q9. カルテと所見の並び順がおかしくなった

A9. Access の「並べ替えとフィルター」の「昇順」、「降順」が有効になっていないか確認をお願いします。



＜「昇順」、「降順」が有効になっていた場合＞

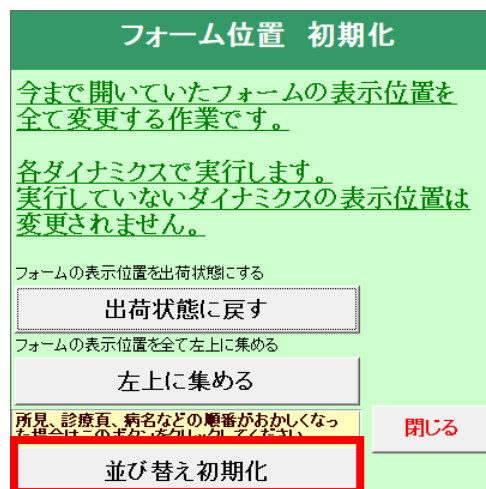
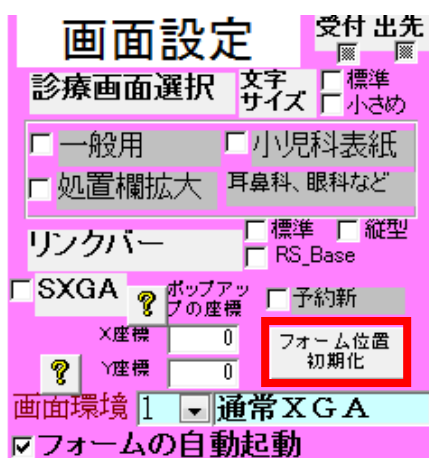
「並べ替えの解除」をすると改善されます。



＜「昇順」、「降順」が有効になっていなかった場合＞

ダイナミクススタート画面から

「メンテナンス」→「初期設定」→「フォーム位置初期化」から「並び替え初期化」をすると並び順を初期化できます。



Q10. 画面が見切れる、表示されない

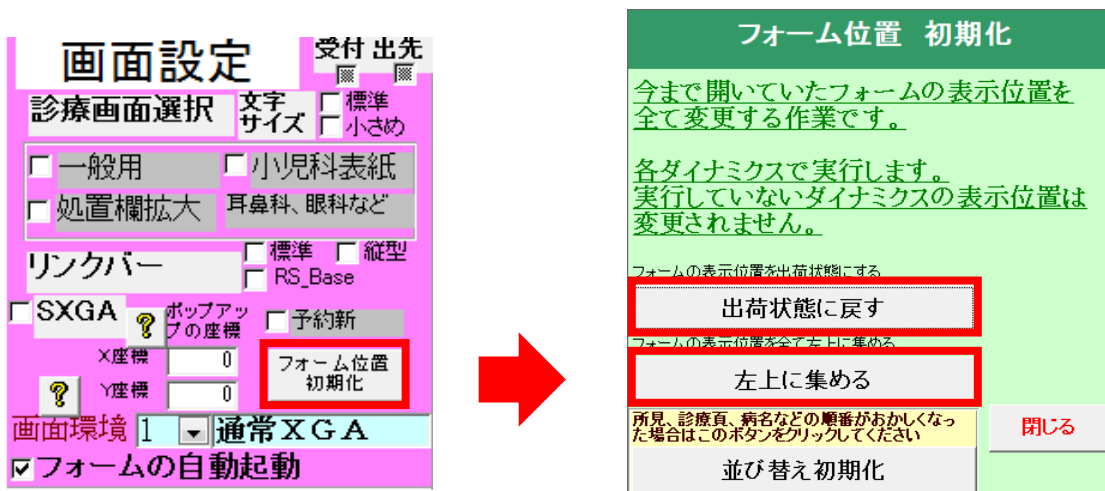
A10. 今まで開いていたフォームの表示位置を出荷時の状態に戻したり、表示位置を全て左上に集めた状態に変更できます。

<操作手順>

ダイナミクスのスタート画面から

「メンテナンス」→「初期設定」→「フォーム位置初期化」から「出荷状態に戻す」または

「左上に集める」をすると表示位置の状態を変更できます。



Q11. 複数の枝番を一本化したい(枝番を 0~9 まで使用してしまった)

A11. カルテの一本化を行い、空き枝番を作る必要があります。

※作業前に必ずバックアップをとってから作業をお願いします。(作業後は元に戻せないため)

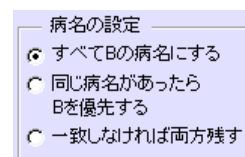
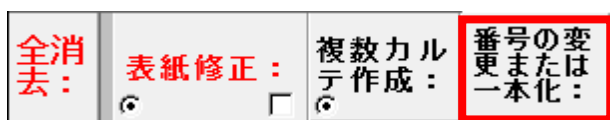
※一本化するカルテは、返戻などの可能性が無い古いカルテから行ってください。

※住所、注意リスト、備忘録(残る表紙のものだけ反映)は引き継がれないので必要であれば
予めコピーやメモを取っておいてください。

※「検査歴f4」の「検査結果の経過」検査データも移しますが、検査名は移さないで、
カルテの検査項目の順序を同じにしておいてください。

<操作手順>

- ① 一本化するカルテを開き(どの枝番でも構いません)、表紙頁「番号の変更または一本化:」
ボタンをダブルクリックすると、カルテ番号一本化フォームが表示されます。



- ② 病名の設定が選択できますので、いずれかにチェックを入れます。
- ③ 残したい枝番号「A」と、残したい表紙情報「B」のチェックボックスに、それぞれチェックを入れます。(カルテ「B」をカルテ「A」の上に移すイメージです。)
- ④ 「一本化:」ボタンをダブルクリックします。カルテの属性、病名(追加や中止も考慮して)、診療内容などが自動的に一本化されるので、カルテの連続性が保たれます。また、ファイリングを使用している場合、データの一本化を行うかどうかのメッセージも表示されます。

カルテ番号	枝番0 (残る番号)	枝番1 (残る表紙)	最終受診日
10001-0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2017/05/15
10001-1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2017/06/21
10001-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2017/07/01

Q12. 検査を入力した際に採血料を自動算定したくない

A12. 採用マスタを登録する際にダイナコードを「19000～19999」(静脈採血料を自動算定しない項目)の範囲で登録をします。

既に通常のダイナコードで採用登録をしてしまったり、今まで使用していたマスタは検査マスタの「手入力・修正画面」にて「不使用」にすると、検査マスタから検索されなくなります。

※セット登録していた項目に関しては入れ替えが必要です。

Q13. 新薬の薬剤を入力したい

A13. 厚労省からマスタが提供されているものであれば

ダイナミクス ホームページ(<https://www.superdyn.jp/>)の
会員専用ページ(要:ユーザー名・パスワード)より「KOROdata」をダウンロードして
更新を行います。

<操作手順>

- ① ダイナミクスのサーバ端末でダイナミクスの会員専用ページから
「KOROdata」のダウンロードをして展開します。
- ② 展開した「KOROdata」のフォルダ内の全てをコピーします。
- ③ ダイナミクスのサーバ端末の「dynamics」フォルダ (datadyna.mdb がある同フォルダ) 内に
貼り付けをして上書きをします。
- ④ ダイナミクスを開きなおすと更新したマスタが反映されます。

※KOROdata の更新作業中はなるべく他端末でカルテ入力をしないようにお願いします。

Q14. 所見にマーカーと下線を記載したい

A14. 所見欄の該当行のどこかに次の記号を入力すると、マーカーや下線で

印をつけることができ、「書込」として反映されます。※色の指定はできません。

※所見頁での「書込」はデータの競合が起こりやすいので、他端末を操作していないときに「書込」してください。

<マーカーを引きたい場合>

所見欄の該当行のどこかに「◎」または「\$」を入力します。

<下線を引きたい場合>

所見欄の該当行のどこかに「_ (アンダーバー)」を入力します。

41 F L H C 百類 錠	21 リン酸コデイン錠 5mg 錠	41 F L H C 百類 錠	21 ムコスタ錠 100mg 錠	21 ムコソルバン錠 15mg 錠	21 1日3回毎食後 4日分	25 処方料(その他)	21 調剤料(内服、屯服)	25 特定疾患処方管理加算1(処方料)	20/08/03 (日曜) 受付09:53	◎ 次回 胸部X-P施行	\$ 次回 採決検査施行	最近調子よくなってきた	◎ 次回 胸部X-P施行	\$ 次回 採決検査施行	_ 最近調子よくなってきた						
21 ムコスタ錠 100mg 錠	21 ムコソルバン錠 15mg 錠	21 1日3回毎食後 4日分	25 処方料(その他)	21 調剤料(内服、屯服)	25 特定疾患処方管理加算1(処方料)	△2020/08/03	基(952)薬(0)注(0)検(509)処(0)	点数(861)請求(8610)薬(0)徴収(8610)	12 再診料	12 外来管理加算	12 明細書発行体制等加算	12 時間外対応加算3	13 特定疾患療養管理料(診療所)	60 尿一般	60 末梢血液一般検査	60 HbA1c	60 総蛋白,クレアチニン,グルコース,γ-G	60 TP,中性脂肪,UA,HDL-コレステロ	60 ール,総コレステロール,AST,ALT,	60 「10項目」	60 血液学的検査判断料

Q15. レセプトの統合方法について

A15. 複数のカルテ枝番での診療があった場合にレセプトの統合作業が必要です。

例)カルテの枝番を「主保険」、「主保険+公費」と分けてカルテ入力した場合

<操作手順>

- ① 該当レセプトを「⑤レセプトフォーム表示」で表示させ「枝番あり」を押して統合画面を出します。
- ② 「主」と「従」にチェックを入れ「統合」ボタンを押します。
- ③ 統合された画面が表示されるので、統合後の内容、実日数、請求点数などを確認し、問題なければ「⑩CSV 作成:」に進みます。

※実日数、請求点数などが正しく反映していなければ手修正後、「⑩CSV 作成:」に進みます。

※統合後に「①レセプトデータ消去:」や「⑦レセプト単独作成:」を行うと、統合したレセプトのデータが消えてしまいもう一度統合作業が必要となりますので注意をお願いします。

Q16. 4 併(公費が3つ以上)のレセについて

A16. ダイナミクスでは公費が3つ以上のレセ電作成には対応していません。
紙レセプトでの提出をお願いします。